「外国籍児童の学習意欲と日本語力の向上を目指して」

～ 環境整備と学習方法・学習形態の工夫を通して ～

名古屋市立東築地小学校　　校長　伊藤　葉子

〒４５５－００２３　名古屋市港区東築地町２６番地
TEL　０５２－６９１－０１１１　　FAX　０５２－６９３－１４３１
URL　http://www.nagoya-c.ed.jp/school/higashitsukiji-e/

事業のねらい

本校には、４８名の外国籍児童が在籍しています。外国籍児童の割合は年々増えており、日本語が全く話せない児童が編入してくることもあります。これまでも、日常会話や文字の習得に向けて計画的に指導を行ってきましたが、次のような課題もみられました。

- 図書準備室で取り出し指導を行っているため、手狭で活動しにくい。
- 多国籍・多言語（６言語）への対応が難しい。
- 日本語を書くことに負担を感じる児童が多く、在籍学級での学習への適応が難しい。
- 文の読み取りや作文、算数の文章問題などの学習に困難さを抱える児童が多い。

これらの課題を解決し、外国籍児童の学習意欲と日本語力の向上を図るために、次のことに取り組もうと考えました。

〇　日本語学習室を整備し、教材・教具の充実を図る。
〇　遊びの要素を取り入れ、仲間と関わりながら学ぶことができる学習方法を工夫する。
〇　必要に応じた取り出し指導を行うとともに、在籍学級での TT 指導を増やし、一人一人に合った学習形態になるように工夫する。

外国籍児童が、学校生活により適応して生き生きと活動できるようになることは、本校児童全体が、国籍や文化の違いを超えて、より多様性を認め合う集団になることにもつながると考えます。

事業の内容

環　境　整　備

空き教室にカーペットを敷き、ローテーブルのある日本語学習室に改装しました。パソコンやプリンター、整理箱などを用意し、外国籍児童の学習が円滑で効率よく進む環境をつくりました。

また、母語学習協力員（ポルトガル語）が対応できない言語があるため、音声翻訳機を導入しました。

【新しい環境での紙芝居の様子】

【音声翻訳機で発表する様子】

【設置されたパソコンとプリンター】

楽しく学べる学習方法の工夫

外国籍児童にとって、慣れない日本語を何度も書くことは、負担が大きくコミュニケーション力向上には繋がりにくいと思われます。そこで、DVD 教材やタブレット、絵カードやカルタなどを効果的に活用しました。遊びの要素を取り入れたり、仲間と関わりながら学べる学習方法を工夫したりすることで、日本語学習に楽しく取り組めるようにしました。

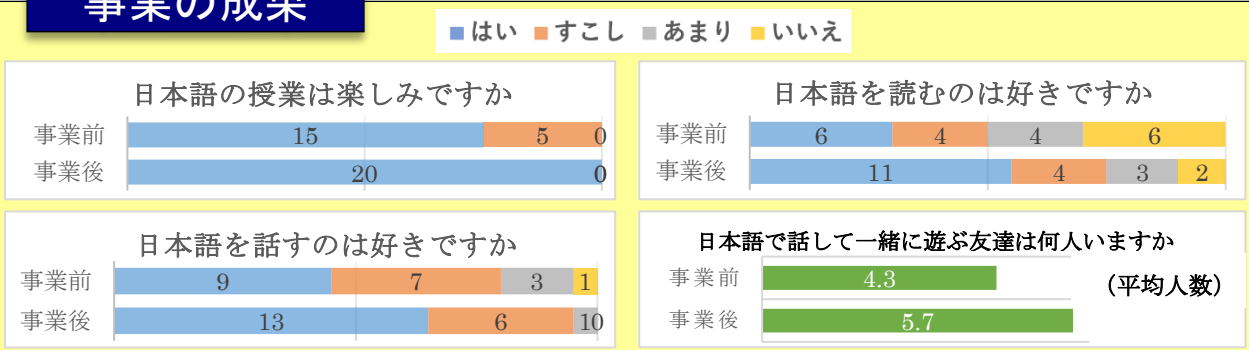
【仲間と日本語カルタをする様子】

取り出しと TT を関連させた指導

外国籍児童が、在籍学級でどんな学習をしていて、どんな力が不足しているのかを正しく把握しサポートをするために TT 指導に入りました。日本語がほとんど理解できない児童の指導には、音声翻訳機を活用しました。

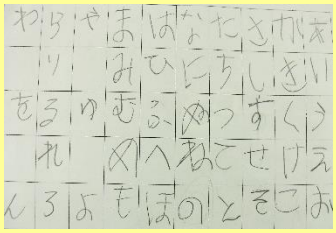
また、日本語指導担当教員と学級担任との連携を深めることで、取り出し指導の学習がより実用性のある内容になるように教材を準備しました。取り出しと TT の指導を関連させることで、個々の児童の実態に即したきめ細かな指導になるようにしました。

事業の成果



アンケートの結果からも分かる通り、日本語の授業が楽しみなだけではなく、日本語を読んだり話したりすることもより好きになった児童が増えました。本事業の取り組みにより、児童の困り感が軽減され、学習に対する意欲が高まったと考えられます。

また、一緒に遊ぶ友達が増えたり、日本語の読み書きができなかった児童が右のように書くことができるようになったりしたことから、日本語力の向上につながったことが分かります。児童の中には、音声翻訳機を自ら借りて、自分の学級の友達と会話する場面も多く見られるようになってきました。



【覚えて書いた児童の平仮名】

事業のまとめ

学習環境の整備や学級担任との連携、外国籍児童一人一人の実態に応じた学習内容の精選を進めることで、児童の意欲が高まり、日本語力が向上するようになってきました。

日本の伝統的な遊びや季節の行事なども取り入れ、学級の友達との仲を深めることや、家族に日本の文化を伝える活動も進めています。

今後も、学校や家族の人たちみんなが協力し、外国籍児童の学習意欲と日本語力の向上を目指して取り組んでいきたいと思います。